

先生の写真

おのあきのり
小野晃典研究会

(マーケティング論〈広告論・消費者行動論〉)

小野 晃典 准教授

I 研究領域

私の研究教育領域は、マーケティング論です。マーケティング論のフレームワークを用いて、「なぜ消費者はこのブランドを選択したのか」、「なぜこの広告は売上に貢献しているのか」、「なぜこの店はここに立地しているのか」といった具体的な課題を設定し、その課題を解決するツールとなりうるモデルの構築と実証を目指します。マーケティング論は広範な学問領域ですが、私の中心的な研究教育領域は広告論と消費者行動論です。製品情報に関わるコミュニケーションを、主に消費者心理を読み解くことによって分析するというスタンスです。

II 研究会の特徴

在外研究期間を経て再開したばかりのゼミなので、特徴という特徴はありませんが、学究心の強いゼミ生たちは、質の高いゼミをわずか1年余りで築き上げつつあります。右ページを参照してください。

III 学生への要望

企業活動や消費者心理にかかわる諸現象を読み解くことへの関心、そして、マーケティング研究が大好きな私とその気持ちを共有して取り組む情熱を切望します。また、今後30年近く続く後輩の模範となるゼミ生でなくてはなりません。私はどの先生にも負けないぐらいにゼミ活動を最優先にするつもりですので、皆さんも在籍中の2年間、ゼミ活動を最優先してください。

IV 選考方法

書類審査・面接・その他の企画によって多角的に人物像を評価し、ゼミ生と共に選考します。2009年度の詳細は未定ですので、今後更新されるゼミのウェブサイトを随時確認してください。

V 経歴

1995年 慶應義塾大学 商学部 卒業； 2000年 同大学院 商学研究科 修了（商学博士）
1997年 慶應義塾大学 商学部 助手； 2000年 専任講師； 2003年 助教授
2007年 慶應義塾大学商学部准教授・商学部学習指導副主任／国際センター学習指導主任〔現職〕
その間、カリフォルニア大学バークレー校 ハース経営大学院（2005-2006年）、カリフォルニア州立サンノゼ大学 シリコンバレー経営大学院（2005-2006年）、北京大学 光華管理学院（2006-2007年）、ミシシッピ大学 経営大学院（2008年）において、客員研究員を歴任

VI 参考文献

指導教授の研究・教育実績について：<http://www.fbc.keio.ac.jp/~akinori/>
ゼミ生の研究成果・入ゼミ情報について：<http://news.fbc.keio.ac.jp/~onosemi/>
ゼミ外メディアでのゼミ紹介記事： 広告業界誌『宣伝会議』第745号（2008年7月15日）
慶應義塾広報誌『塾』第260号（2008年10月）

I ゼミの特徴（ゼミ員より）

当研究会の特徴は何といっても研究成果にあります。小野ゼミではマーケティング・ゼミ合同研究報告会、商学部4分野インゼミ研究発表会、関東十ゼミ討論会、学生広告論文電通賞論文といった様々な企画に自主的に参加してきました。これらの研究成果や卒業論文はウェブサイトに掲載するほどの自信作揃いです。こうした豊富で高度な研究成果を支えるのは、ゼミ生の意欲と団結力と実行力の賜物です。41名のゼミ生は、これから10年、20年と続くゼミの歴史を築いていくことへの責任を感じながら、自身の成長のビジョンを明確に持ち、現在ゼミ活動に打ち込んでいます。当研究会の指導教授である小野先生は、そういった私たちゼミ生の目線に立ち、どんな研究企画案でもゼミ生の意欲を汲み取ってくださり、ゼミ生の意見を最大限に尊重してくださる方です。また当研究会の活動はもちろん研究だけではありません。商学部を代表して行った「高校生のための体験講座」や商学部ゼミナール対抗ソフトボール大会優勝をはじめとして、合宿や飲み会なども含めた行事にも全力で取り組んでいます。三田での残り2年間の学生生活は人それぞれかと思いますが、もし、真剣にマーケティングを勉強したいという確固たる意思があるならば、皆さんにとって当研究会は最高の環境を提供できると思います。



II ゼミ員構成

- 4年生 22名【第5期生】
(うち女子7名、他学部1名)
- 3年生 20名【第6期生】
(うち女子6名、他学部1名、留学生1名)

III 活動内容

【3年次】春学期は、基礎知識修得のため、ケースメソッド、ディベート（以上、木曜本ゼミ企画）、基礎文献レポート、コンピューターによる多変量解析、フリーディスカッション（以上、月曜サブゼミ企画）等に取り組みます。秋学期は、前期で築き上げた知識を土台に、各共同研究プロジェクトチームに分かれて、マーケティングに関する様々な企画に参加する期間となっています。

【4年次】3年生の指導しつつ、自らの卒行論文を執筆します。空いた時間を使って、懸賞論文に個人応募する4年生も少なくありません。

IV 三田祭

マーケティング・ゼミ合同研報告会、商学部4分野インゼミ研究発表会、関東十ゼミ討論会、学

生広告論文電通賞論文の4つの共同研究プロジェクトの概要を説明するというのが、当研究会での三田祭の位置付けです。これらの研究内容に関しては、HPに掲載されています。どうぞご覧下さい。

V 入ゼミ選考について

当研究会では「成長のビジョンを持ち、意欲のある学生」、「熱いハートを持った学生」の入会を求めています。また、私達ゼミ生はゼミ活動に対して全力で取り組んでいますので、入会を希望される皆さんにも、ゼミ活動を優先して欲しいと思っています。

多くの方々が小野ゼミを志願して下さることを心から期待しています。奮ってご応募ください。お待ちしております。

VI 連絡先

小野晃典先生 akinori@fbc.keio.keio.ac.jp
松木拓也（入ゼミ）（文責） tm680324@yahoo.co.jp
加藤絵美（入ゼミ） mixberry_vv@z2.keio.jp
質問用メールアドレス onosemi7@gmail.com
小野ゼミ HP <http://news.fbc.keio.ac.jp/~onosemi/>